



平成24年6月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成24年5月14日

上場取引所 東

上場会社名 比較.com株式会社

コード番号 2477 URL <http://www.hikaku.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 渡邊 哲男

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画室長

(氏名) 小宮 浩一

TEL 03-5447-6690

四半期報告書提出予定日 平成24年5月15日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年6月期第3四半期の連結業績(平成23年7月1日～平成24年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年6月期第3四半期	472	28.4	12	90.1	13	89.0	12	
23年6月期第3四半期	660	10.0	123	7.5	123	7.9	23	

(注) 包括利益 24年6月期第3四半期 12百万円 (%) 23年6月期第3四半期 23百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年6月期第3四半期	377.38	
23年6月期第3四半期	730.27	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年6月期第3四半期	1,757	1,672	95.2
23年6月期	1,858	1,685	90.7

(参考) 自己資本 24年6月期第3四半期 1,672百万円 23年6月期 1,684百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年6月期		0.00		0.00	0.00
24年6月期		0.00			
24年6月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年6月期の連結業績予想(平成23年7月1日～平成24年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	613	26.1	52		51		55		1,718.51

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年6月期3Q	32,382 株	23年6月期	32,382 株
期末自己株式数	24年6月期3Q	株	23年6月期	株
期中平均株式数(四半期累計)	24年6月期3Q	32,382 株	23年6月期3Q	32,382 株

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期決算報告書のレビュー手続を実施しています。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) セグメント情報等	7
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響による厳しい状況の中、経済活動も徐々に震災前の水準に戻りつつあるものの、欧州の政府債務危機もあり、依然として先行き不透明な状況が続きました。

このような状況ではありますが、インターネット市場は引き続き拡大傾向にあります。インターネットは、生活に欠かせないインフラのひとつとなり、パソコンに加え、携帯電話やスマートフォンを用いたインターネット利用が広く普及するなど、その利用環境も多様化が進んでいます。

このような環境の中、当社グループにおきましては、主要3事業を拡大し、消費者の生活に密着したサービス提供を行うべく、データベースの拡充や、システム改善、機能追加を行い、ユーザーの利便性の向上をはかりました。

インターネット広告事業におきましては、総合比較サイト『比較.com』のショッピング比較サービスにおいて、継続的に検索機能の強化とサイト内の情報量の拡充を行いました。また、ネット証券会社比較サービスやクレジットカード比較サービスのスマートフォン用サイトの対応を行いました。今後ともスマートフォンへの対応は金融カテゴリーを中心に順次拡大していく予定です。

更に、広告宣伝活動についての見直しを行い、費用のスリム化に取り組んでおります。

アプリケーションサービス事業におきましては、新型予約サイトコントローラ『手間いらず.NET』の導入数が堅調に増加しており、サーバーの増強などのインフラ面の対応を進め、システムの再構築をはかりました。

現在、営業力及び開発力の強化を進めており、サービスの質をより一層高めていく予定です。

オンライントラベル事業におきましては、連結子会社の予約.com株式会社が運営する国内宿泊予約サイト『マル得ホテル予約』にて引き続き国内宿泊予約サービスのデータベース拡充を進めました。

しかしながら、当社グループの各サイトのページビュー数及びユニークユーザー数は依然として低調に推移しており、数字の落ち込みへの対応も計画通りに進まず、前年同期の水準に達しませんでした。また、ユニークユーザー数の減少に伴い、売上も伸び悩んだ結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は472,472千円（前年同期比28.4%減）、営業利益は12,173千円（前年同期比90.1%減）、経常利益は13,602千円（前年同期比89.0%減）、四半期純損失は12,220千円（前年同期は四半期純損失23,647千円）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

インターネット広告事業

インターネット広告事業におきましては、総合比較サイト『比較.com』を中心とした広告媒体の運営を行っております。『比較.com』においては、ショッピング、プロバイダー、旅行、保険、マネー・資産運用、生活・資格、自動車といった様々な分野の商品・サービスに関する情報を、インターネットユーザーの視点、ニーズに沿って整理した比較.comサービスを提供しており、平成24年3月31日現在54の比較サービスを運営しております。また、当社ウェブサイトは、比較サービスの提供にとどまらず、資料請求や見積請求、申込、予約、購買等のサービスを提供しております。

当四半期におきましては、当社運営の総合比較サイト『比較.com』にて検索結果の表示順位の下落に対する対応の遅れが長期化しており、広告出稿等でページビュー数及びユニークユーザー数の改善をはかりましたが、前年同期の水準に達しておらず、アフィリエイト成果件数も伸びなかったため、前年同期を下回りました。

この結果、インターネット広告事業の売上高は176,234千円（前年同期比49.8%減）となりました。引き続き営業力及び媒体力を強化し、サイトへの集客数を回復させる施策を行うことで業績回復に努めてまいります。

アプリケーションサービス事業

アプリケーションサービス事業におきましては、ホテル・旅館向けの予約サイト一元管理システムである『手間いらず!』やそのASP版である『手間いらず.NET』の提供を通じて、お客様の業務の効率化等を支援するアプリケーションサービス事業を運営しております。

当四半期におきましては、『手間いらず!』を導入している宿泊施設の新型予約サイトコントローラ『手間いらず.NET』へのシステム移行が順調に推移し、『手間いらず.NET』の導入実績数は増加しており、売上高は微増しております。

この結果、アプリケーションサービス事業の売上高は271,103千円（前年同期比1.7%増）となりました。今後は更なる営業人員の拡充と商品力及びインフラ面の強化を行い、事業規模の拡大に向けた仕組みづくりを進めてまいります。

オンライントラベル事業

オンライントラベル事業におきましては、海外ダイナミックパッケージ、海外航空券、海外ホテルのオンライン販売を展開し、旅行商品のリアルタイム空席・空室照会、即時予約、即時決済のワンストップサービスを提供しております。また、国内ホテルの総合予約サービスも展開し、PC及びモバイルのウェブサイトを通じたオンライン販売のみならず、コールセンターを通じた電話での予約受付も行っております。

当四半期におきましては、連結子会社の予約.com株式会社が運営する旅行予約サイト『予約.com』及び『マル得ホテル予約』の情報拡充に努めましたが、売上高は前年同期に比べ減少いたしました。

この結果、オンライントラベル事業の売上高は25,133千円（前年同期比36.7%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期末の総資産は1,757,865千円となり、前連結会計年度末に比べ100,483千円減少いたしました。主な要因は、のれん38,058千円の減少であります。

当第3四半期末の負債は84,982千円となり、前連結会計年度末と比べ87,641千円減少いたしました。主な要因は、未払法人税等46,302千円の減少であります。

当第3四半期末の純資産は1,672,882千円となり、前連結会計年度末と比べ12,842千円減少いたしました。主な要因は、四半期純損失の発生によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年6月期の通期連結業績予想につきましては、平成24年2月13日に発表いたしました通期業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

第1四半期連結会計期間より、「1株当たり当期純利益に関する会計基準」（企業会計基準第2号 平成22年6月30日）及び「1株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第4号 平成22年6月30日）を適用しております。

潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定にあたり、一定期間の勤務後に権利が確定するストック・オプションについて、権利の行使により払い込まれると仮定した場合の入金額に、ストック・オプションの公正な評価額のうち、将来企業が提供されるサービスに係る分を含める方法に変更しております。

(4) 追加情報

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,486,540	1,435,063
売掛金	100,849	84,100
繰延税金資産	4,665	495
その他	33,196	41,232
貸倒引当金	3,354	2,917
流動資産合計	1,621,896	1,557,974
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,167	2,167
減価償却累計額	2,167	2,167
建物及び構築物(純額)	-	-
その他	7,078	9,638
減価償却累計額	6,256	7,120
その他(純額)	822	2,517
有形固定資産合計	822	2,517
無形固定資産		
のれん	187,403	149,345
その他	-	787
無形固定資産合計	187,403	150,133
投資その他の資産		
繰延税金資産	937	586
その他	49,463	48,741
貸倒引当金	2,175	2,087
投資その他の資産合計	48,225	47,240
固定資産合計	236,452	199,890
資産合計	1,858,349	1,757,865
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,371	1,576
未払法人税等	46,302	-
その他	123,949	83,406
流動負債合計	172,624	84,982
負債合計	172,624	84,982
純資産の部		
株主資本		
資本金	709,262	709,262
資本剰余金	1,000,262	1,000,262
利益剰余金	24,604	36,824
株主資本合計	1,684,920	1,672,700
新株予約権	804	182
純資産合計	1,685,724	1,672,882
負債純資産合計	1,858,349	1,757,865

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年7月1日 至平成23年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年7月1日 至平成24年3月31日)
売上高	660,121	472,472
売上原価	58,518	54,971
売上総利益	601,602	417,501
販売費及び一般管理費	478,545	405,328
営業利益	123,057	12,173
営業外収益		
受取利息	479	875
為替差益	-	342
その他	379	211
営業外収益合計	858	1,428
営業外費用		
為替差損	12	-
営業外費用合計	12	-
経常利益	123,903	13,602
特別利益		
貸倒引当金戻入額	2,455	-
子会社株式売却益	3,742	-
新株予約権戻入益	3,164	652
その他	86	-
特別利益合計	9,448	652
特別損失		
減損損失	78,234	3,125
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	3,200	-
特別損失合計	81,434	3,125
税金等調整前四半期純利益	51,917	11,129
法人税、住民税及び事業税	72,791	18,828
法人税等調整額	2,773	4,521
法人税等合計	75,564	23,349
少数株主損益調整前四半期純損失()	23,647	12,220
四半期純損失()	23,647	12,220

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年7月1日 至平成23年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年7月1日 至平成24年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失()	23,647	12,220
四半期包括利益	23,647	12,220
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	23,647	12,220

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

前第3四半期連結累計期間(自平成22年7月1日至平成23年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	インターネット 広告事業	アプリケーション サービス事業	オンライン トラベル事業	その他 事業 (注)3	合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
売上高							
(1) 外部顧客への 売上高	351,359	266,620	39,699	2,441	660,121	-	660,121
(2) セグメント間 の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-	-	-
計	351,359	266,620	39,699	2,441	660,121	-	660,121
セグメント利益 又は損失()	87,084	100,373	10,366	755	176,336	53,279	123,057

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額 53,279千円には、セグメント間取引消去5,512千円、各報告セグメントに配分していない全社費用 58,792千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 第2四半期連結会計期間において、その他事業を営む連結子会社であった株式会社ヒメナ・アンド・カンパニーは、当社が保有する全株式を売却したため、連結子会社ではなくなりました。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

前第3四半期連結累計期間(自平成22年7月1日至平成23年3月31日)

当社は従来、「インターネット広告事業」、「アプリケーションサービス事業」、「オンライントラベル事業」、「その他事業」の4つを報告セグメントとしておりましたが、当第3四半期連結会計期間より、「インターネット広告事業」、「アプリケーションサービス事業」、「オンライントラベル事業」の3つに変更しております。

この変更は、その他事業を営む株式会社ヒメナ・アンド・カンパニーの全株式を売却し、第2四半期連結会計期間より同社が連結の範囲から除外されたことによる変更であります。

当第3四半期連結累計期間（自平成23年7月1日 至平成24年3月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	インターネット 広告事業	アプリケーション サービス事業	オンライン トラベル事業	合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
売上高						
(1) 外部顧客への 売上高	176,234	271,103	25,133	472,472	-	472,472
(2) セグメント間 の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-	-
計	176,234	271,103	25,133	472,472	-	472,472
セグメント利益 又は損失()	41,237	99,254	3,098	54,918	42,745	12,173

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額 42,745千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社は従来、「インターネット広告事業」、「アプリケーションサービス事業」、「オンライントラベル事業」、「その他事業」の4つを報告セグメントとしておりましたが、前第3四半期連結会計期間より、「インターネット広告事業」、「アプリケーションサービス事業」、「オンライントラベル事業」の3つに変更しております。

この変更は、その他事業を営む株式会社ヒメナ・アンド・カンパニーの全株式を売却し、前第2四半期連結会計期間より同社が連結の範囲から除外されたことによる変更であります。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。